

# 令和7年度高圧ガス保安講習会

## (2) 大規模地震発生時の対応について

- ① 危害予防規程等について
- ② 愛媛県の地震・津波浸水想定の変更（令和7年9月2日）
- ③ 令和6年1月1日能登半島地震時の事故事例

### ① 危害予防規程等について

危害予防規程には、以下について定め、これを遵守しなければなりません。  
定期的に内容を確認し、必要に応じて見直しを行ってください。  
**詳細は細則に定めるなど、他の規定を引用している場合は、引用している規定も同様です。**  
保安責任者は、これらについて管理をすることになっています。  
(一般則第63条、液石則第61条、コンビ則第22条、冷凍則第35条)

#### ○全事業所

- ・ 大規模な地震に係る防災及び減災対策 (第2項第7号)

#### ○愛媛県全域で津波浸水想定30cm以上の区域、ただし不活性ガスのみの場合を除く

- ・ 津波からの円滑な避難の確保 (第5項第1号)
- ・ 防災訓練並びに教育及び広報 (第2号)

#### ○津波浸水想定が設定された区域

- ・ 津波警報の伝達方法、避難場所、避難の経路その他の避難 (第9項第1号)
- ・ 津波警報時の作業の速やかな停止、設備の安全な停止並びに避難時間の確保に係る判断基準、手順及び権限 (第2号)
- ・ 教育、訓練及び広報 (第3号)
- ・ 製造設備の破損又は流出による被害想定並びに都道府県等への被害想定の情報提供 (津波浸水想定3mを超える場合) (第4号)
- ・ 津波警報時の保安に関する設備等の作業手順及び機能が喪失した場合の対応策 (第5号)
- ・ 被害を受けた製造施設の保安確保の方法 (第6号)

保安設備等の機能が喪失した場合※を予め想定し、必要な措置の訓練をお願いします。

※電気設備が使用できなくなった場合、散水設備が使用できなくなった場合、等

## ②愛媛県の地震・津波浸水想定の変更（令和7年9月2日）

県内の地震・津波浸水の想定が変更されました。  
事業所の保安活動に必要な情報ですので確認をお願いします。

愛媛県ホームページ

地震想定 : <https://www.pref.ehime.jp/page/120622.html>

津波浸水想定 : <https://www.pref.ehime.jp/page/120626.html>

より詳細な地図が必要な場合は、以下メールアドレスにご連絡  
をお願いします。

画像のコピーか、元データ（GISデータ）を提供可能です。

（元データは使用手続きを要します。）

消防防災安全課（担当：保安係）

e-mail : [syouboubousa@pref.ehime.lg.jp](mailto:syouboubousa@pref.ehime.lg.jp)

※事業者・事業所名、担当部門・担当者名、電話番号と、  
提供を希望するもの（画像のコピー又は元データ）  
を記載してください。



（詳細な地図の例：宇和島市周辺）

3

## ③令和6年1月1日能登半島地震時の事故事例

石川県、富山県、岐阜県において地震に起因する高圧ガスの噴出・漏えい事故計6件が報告されています。  
高圧ガス保安協会から「地震に関連する高圧ガス事故の注意事項」が公開されていますので参考にしてください。  
([https://www.khk.or.jp/Portals/0/khk/hpg/accident/2024/2024\\_earthquake.pdf](https://www.khk.or.jp/Portals/0/khk/hpg/accident/2024/2024_earthquake.pdf))

### 事例1) 脱圧槽液面計からの液化アンモニア漏えい事故（コンビナート事業所）

1月1日

16時10分 令和6年能登半島地震発生（事業所内震度5弱）。揺れが収まった後、脱圧槽のアンモニアガス検知器が発報。

16時15分 現地確認を行い、脱圧槽の液面計下部より液化アンモニアが漏えいしていることを発見した。

16時20分 ライフゼムを着用の上、液面計元弁閉止操作を開始した。

16時30分 元弁の閉止操作が完了し、漏えいが停止した。併せて県災害対策本部へ事故の発生について連絡した。

19時20分 県消防へ事故の発生について連絡した。  
この時点では液面計のガラス破損が原因と推定されると報告

1月4日

10時30分 窒素ガスにて液面計周辺の漏えいテストを実施し、漏えい箇所が液面計下部袋ナットであることが判明した。

### 事例2) LPG受入配管からの漏えい（コンビナート事業所）

「令和6年能登半島地震（事業所内地震計観測値：震度6強、861Gal）」に伴い架構に敷設されているLPG受入配管の位置がずれ、フランジ継手の締結部が開き、配管内の残液が漏えいした。

1. 地震発生後、大津波警報（16時22分）、津波警報（20時30分）の発令及び夜間で余震が続く状況のため、設備点検を見合せ。

2. 津波注意報（1月2日01時15分）切替後に宿直明者が同配管からの漏えいを発見し（同日07時30分頃）、配管縁切り（ブロック化）後、脱圧（配管内の液回収）作業を開始。

3. 09時30分頃、漏えい箇所4箇所のうち3箇所の漏えい停止

4. 17時00分頃、残りの漏えい箇所1箇所の漏えい停止

※高圧ガス保安協会ホームページ 2024年に発生した高圧ガス保安法事故一覧表から抜粋  
[https://www.khk.or.jp/Portals/0/khk/hpg/accident/2025/R6jiko\\_nenpou.pdf](https://www.khk.or.jp/Portals/0/khk/hpg/accident/2025/R6jiko_nenpou.pdf)

4